

ための予算を計上しています。熊野古道は世界遺産の登録の指定を近く受ける地域の中心的な文化遺産であり、関係市町村に働きかけ、市町・住民の方々との協働により、実行ある取組にしていきたいと考えています。

● その他の質問事項
 ・ 県財政の今後の見通し
 他



熊野古道八鬼山越え（九木峠からの眺望）

観光政策と伊勢志摩の元気づくり

―観光政策にビジョンを―

中村進一議員
 新政みえ（伊勢市選出）



伊勢志摩は、三重県の観光の中心的な役割を担ってきました。しかし、同国立公園へ

の観光入り込み客数が大きく落ち込んできており、これが県全体の減少にも影響を与えています。そのため、伊勢志摩地域に対して有効な観光政策を打ち出す必要があります。

一方で、伊勢志摩の集客交流のためには、県も様々な取組を進めてきました。また、市町村や事業者、住民やNPOの皆さんも全力で取り組んでおられますが、横の連携や情報交換ができていません。そういう状況に陥っているのは、県としての観光政策ビジョンが明確ではないからです。また、愛知万博なども踏まえ、年内に機構改革を行うぐらいの意気込みで、新しい体制づくりにも取り組んでいただきたいのですが、知事の所見をお聞きます。



観光振興は本県の極めて重要な課題と考えており、中部国際空港開港や愛知万博が開催される二〇〇五年もにらみながら、新しい視点を持ち込んだ観光振興戦略を本年度中に策定することとしており、パンチ力のある新しいものを是非策定したいと考えています。

また、議員指摘の様々な課題については、さらに取組を充実させるとともに、新しい観光振興戦略の中で、具体的に整理し、新たな取組に向かっていきたいと考えています。

● その他の質問事項
 ・ 野呂知事らしい三重県ビジョン
 他



伊勢志摩スカイラインからの眺望

宮川流域諸課題

―宮川用水事業―

西場信行議員
 自由民主党・無所属議員団（多気郡選出）



平成七年度から国営宮川用水第二期農業水利事業が進められています。第二期農業水利事業が進められるものと考えています。しかし、今日の厳しい稲作環境では、パイプラインに伴う県営事業等において、農家負担を求めていくには限界があります。

最近、伊勢市内で行われたパイプライン工事では、既存水路を利用するという地元のアイデアによる新しい工法を採用した結果、従来工法の四分の一程度の事業費で実施されました。そこで、農家負

担の軽減はもちろんのこと、効率性や環境保全の観点からも、こうした新規工法を末端整備に採用すべきです。また、国庫補助事業の工法として認められるよう国に対して要望すべきと考えますが、所見をお聞きます。



伊勢市内で実施された水路内へのパイプ埋設工法については、地元関係者と技術検討会を行っており、その中で、この工法の構造や経済性の検討を行い、国庫補助事業の工法として認められるよう、基準化に向けて取り組んでいます。

今後は、この検討結果を踏まえて、早期に工法等を確立し、末端地域の整備手法として採用していきたいと考えています。

● その他の質問事項
 ・ しあわせ創造県

